

令和6年4月17日

報道機関各位

長岡市商工部産業イノベーション課
バイオエコノミー担当課長



会員は12社・機関増！産総研との連携、産業活性化への新事業も 長岡バイオエコノミーコンソーシアム総会を開催

長岡市は、令和3年6月に内閣府の「地域バイオコミュニティ」の認定（現在全国6自治体、関東甲信越地区では唯一）を受け、バイオエコノミー^{*1}社会の実現に向け、未利用資源の利活用やバイオ産業創出などさまざまな施策に取り組んでいます。

市内外の産学官金で構成する「長岡バイオエコノミーコンソーシアム」は設立から4年目となり、会員は昨年から12社・機関増えて54団体になりました。今年度は、昨年11月に「長岡・産総研 生物資源循環 BIL^{*2}」がミライエ長岡に開設したことを受け、企業の産総研視察や、企業企画型バイオサロンなどを行うとともに、産産・産学連携による新たな事業や産業の創出を支援していきます。

このたび、「長岡・産総研 生物資源循環 BIL」の活動報告などの事例発表を行う令和6年度総会を開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

令和6年度長岡バイオエコノミーコンソーシアム総会

- 日時 4月26日（金）午後3時～5時
- 場所 アオーレ長岡 市民交流ホールA（長岡市大手通1-4-10）
※オンライン参加もあり
- 内容 (1) 会長あいさつ（磯田長岡市長）
(2) 令和5年度事業報告、令和6年度計画（案）について
(3) 新会員の紹介
(4) 事例発表・意見交換（午後4時頃から）
 - ・「長岡・産総研 生物資源循環 BIL」の活動報告
 - ・長岡技術科学大学による企業との社会実装の取り組み
 - ・生ごみバイオガス発電センター発酵残渣の市内循環
- 参加予定者 約60人（現地50人、オンライン10人）

※1 バイオエコノミー

バイオテクノロジーや再生可能な生物資源等を利活用し、持続的で再生可能性のある循環型の経済社会を拡大させる概念

※2 長岡・産総研 生物資源循環 BIL

産業技術総合研究所（産総研）、長岡技術科学大学、長岡市の3者で「有機廃棄物を含む生物資源の資源循環」をテーマとした研究開発や、長岡市とその周辺地域の食品・バイオ関連などの企業支援を連携して行っていくもの。産総研のBIL開設は全国2か所目で、自治体が参画するのは長岡が初。

問い合わせ：産業イノベーション課 小林
TEL0258-39-2402